

事前評価個表

整理番号	43
------	----

地域（地区）名	やまなしとうぶ 山梨東部地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山梨県	対象市町村	富士吉田市ほか11市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本計画区は、県東部に位置し、大月地域と富士北麓地域に分かれる。また、計画区を流れる水系には、相模川水系と多摩川水系があり、首都圏の源流域ともなっていることから、水源林として県内外へ及ぼす影響も大きい地域といえる。また、計画区内の森林においては、県土の保全をはじめ、水源のかん養、地球温暖化の防止など多面的機能を有しており、豊かで潤いのある地域住民生活の礎になっている。また、木材流通の拠点である甲斐東部材原木市場を中心に、県産材の利用拡大、材の安定供給等に取り組んでいる地域である。</p> <p>しかし、林業の採算性の低下などから、森林所有者の施業意欲は減退しつつあり、私有林においては、森林の荒廃が著しく公益的機能の低下が危惧され、また、林業生産活動も停滞していることが、山村地域における大きな課題となっている。</p> <p>このため、適正な森林管理による公益的機能の維持増進とともに、地域産業振興の活性化を図ることが必要となる。</p> <p>今後は、計画区内の小規模、分散する森林を取りまとめ、森林施業の集約化により効率的な施業を推進していき、森林の持つ公益的機能を向上させながら、間伐材等の森林資源の有効的な活用をこれまで以上に促進させ、地域における森林林業の活性化を図り、持続可能な森林経営を築く体制を整え、山村地域の暮らしを支える豊かな森づくりを目指す。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,810ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,057,716千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.24 (総便益(B) = 6,018,588千円、総費用(C) = 1,853,049千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保はもとより、間伐材など将来の材活用の安定生産にとって有効である。</p> <p>森林は、多様な機能を有しているが、これら機能は一度失うと回復に長時間を要することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画は、事業の目的ごとに適切な森林整備を推進するものとなっており、効率性、有効性が認められる。</p> <p>このため、森林環境保全整備事業として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 山梨東部

山梨県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,954,484	
	流域貯水便益	544,751	
	水質浄化便益	929,995	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,986,701	
	土砂崩壊防止便益	4,322	
環境保全便益	炭素固定便益	380,260	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	218,075	
総 便 益 (B)		6,018,588	
総 費 用 (C)		1,853,049	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,018,588}{1,853,049} = 3.24$		

森林環境保全事業 山梨東部地域（山梨県） 概要図

